

西成特区構想エリアマネジメント協議会
第4回就労福祉・健康専門部会専門部会 議事要旨

1 日 時 令和3年1月19日(火) 午後7時から午後9時まで

2 場 所 西成区役所4階 4-6・8会議室

3 出席者

<就労福祉・健康専門部会>

(有識者)

白波瀬桃山学院大学准教授、垣田大阪市立大学准教授、福原大阪市立大学名誉教授
(行政関係者)

【西成区】

加畑保健福祉課長、阪本分館担当課長、安井福祉担当課長、田中保健担当課長、
三代総務課長、鈴木地域支援担当課長 他1名

【福祉局】

北口自立支援課長、野口自立支援課長代理

【大阪府商工労働部】

芝労働環境課参事、中村労働環境課課長補佐、岡本労働環境課課長補佐

【事務局(西成区)】

原事業調整担当課長、狩谷事業調整担当課長代理 他2名

(地域メンバー)

山田 NPO 法人釜ヶ崎支援機構理事長・横谷就労事業部指導員、山田 NPO 法人サポーター
ティブハウス連絡協議会代表理事、松井公益財団法人西成労働福祉センター総務課
長、荘保わが町にしなり子育てネット代表、吉岡釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表、
山中釜ヶ崎日雇労働組合委員長、泊全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成
分会分会長、稲葉西成市民館相談員、ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局
長、石川社会福祉法人大阪市西成区社会福祉協議会事務局長

(西成版サービスハブ構築・運営事業 委託先事業者)

小林主任相談員

4 議 題

(1) あいりん総合センター跡地等に求める機能について

(2) その他

5 議事要旨

(1) 地域メンバーより、あいりん総合センター跡地等に求める機能のうち、「ワンストップ相談窓口(就労関連等)」に関する意見が出された。

(ワンストップ窓口の対象者のイメージ)

・就労不安定層、居住不安定層が主な対象となる。

福祉的なサポートを通じて就労に結びつけるような層が多くなる。

・性別や国籍は問わない。

・西成区民に限るべきではない。

(その他)

・本来、生活困窮者はそれぞれの居住地で支えられるべきかもしれないが、それでもこぼれ落ちる人々が存在し、既に、あいりん地域に流入しているという現状があるため、あいりん地域にある居住資源を活かした施策等を検討すべきである。

・西成区という範囲で対象を狭く限定すると、対象者を西成区域に縛り付けることとなるので、24区の縦割りを越えたセーフティネットが必要である。

- (2) これを受けて、今後、大阪市において、同じく労働機能についての検討を行っている国・府と協調し、「労働施設内にワンストップ相談窓口（就労関連等）を設置することをめざし、福祉的支援に関する事業を労働施設内で実施すること」について、検討を進めていくべきこととされた。
- (3) 今回の会議でまとめられた意見について、次回のまちづくり会議 WS へと報告することとされた。

6 会議資料

- (1) ワンストップ相談窓口(こども・子育てに関する部分以外)の検討について(案)
- (2) 就労福祉・健康専門部会スケジュール(R3.1.19月時点)
- (3) 第3回就労福祉・健康専門部会・第2回こども子育て専門部会議事要旨(案)
- (4) 議事要旨別紙 あいりん総合センター跡地等に求める機能【住民の福利】(修正案)